

大使館代表挨拶 手塚治虫漫画展（9月6日（金））

ご来場の皆様、こんにちは

日本大使館次席参事官の岩間良次と申します。大使館を代表してご挨拶申し上げます。

はじめに、手塚治虫漫画展と漫画マニア展の開催を心よりお慶び申し上げます。日本とフィンランドの外交関係樹立100周年を記念するこの歴史的な展覧会の開会式に出席する機会を得て、大変光栄に存じます。主催者のタンペレ美術館をはじめ、今回の漫画展の成功に向けて御尽力を頂いた宝塚市立手塚治虫記念館、京都国際マンガミュージアム、手塚プロダクション並びに京都精華大学マンガ研究センターの関係者の皆様に深く御礼申し上げます。

今年は日本とフィンランドの外交関係樹立100周年という記念すべき年です。フィンランド各地でまた日本でもこの歴史的な年をお祝いする様々なイベントが行われています。7月には秋篠宮皇嗣同妃両殿下が100周年となるフィンランドと日本との関係をお祝いするために、皇嗣殿下になられて初めての外国訪問としてフィンランドを御訪問されました。

今や日本とフィンランドの間には週41便の直行便が運航し、年間約15万人もの日本人とフィンランド人が往来するようになってきました。そして、日本EU・EPAの締結によりフィンランドと日本との関係は、二国間の枠を超え、ヨーロッパと東アジアを結ぶ戦略的なパートナーへ発展しており、フィンランドと日本が欧州と東アジアの要として、確固たる信頼関係を基に安全保障、ビジネス、文化等幅広い分野で相互利益につながる戦略的な関係へと発展しているところです。

このような100年にわたる両国の友好関係の礎となっているのは、様々な分野における人と人とのつながりです。手塚治虫は「漫画の神様」と言われ、その偉大な功績は皆様もよく御存じかと思われれます。手塚治虫により日本の誇る文化へと高められた日本の漫画やアニメは、ここフィンランドをはじめ、世界中でも広く愛され、日本へ関心を持つきっかけとなったり、日本語を勉強する動機にもなったりしています。また、フィンランドの偉大な芸術家の一人であるトーベ・ヤンソンの代表作ムーミンも漫画、アニメという形で日本は勿論、世界中の人達の心に浸透しています。漫画は日本人とフィンランド人、そして世界中の人達との心をつなぐ重要な役割を果たしています。

この意義深い100年の節目の年だからこそ、生命の尊さや未来への夢や希望が込められていると言われる手塚治虫の作品は、フィンランドと日本の人々が新たな100年に向けた関係を思い描く上で、きっと多くの示唆を与えてくれるに違いありません。

手塚治虫漫画展，漫画マニア展，楽しみです。今回の漫画展の成功を祈念して，ご挨拶とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

（了）